

どうなる投票所

改正案

中山地区 = 6 投票所に
名和地区 = 6 投票所に
大山地区 = 7 投票所に

現状と課題

投票所は、合併前の数がそのまま引き継がれ、町内で49ヶ所ある。

有権者数、地理的条件、交通の利便性等を勘案し、設けられたものである。

近年、地域の状況は大きく変化し、少子・高齢化や若者の流出による人口の減少等、投票区の状況に不均衡が生じている。また、投票所の数が多いため、投票事務の煩雑化、開票作業の遅滞化等

の要因にもなっている。また、車社会の進展に伴い、駐車場が手狭になり、投票がしにくい環境の投票所も見られる。

見直しの考え方

道路網の整備や期日前投票制度の創設、投票時間の延長等、投票環境は改善が図られている。

投票区を適正規模で再編することは、行財政の効率性を図る観点からも見直しが求められる。

投票所の数の見直しにより、ポスター掲示場の数も減少するが、次回の町長・町議会議員選挙から選挙広報の発行が予定されている。

議会からの課題提起

①投票所がより投票しやすい環境となるよう配慮されること。

②投票率アップを目指して、情報提供の向上を図ること。

③交通弱者が、投票所が遠くなることにより、投票の機会を失わないよう、何らかの対策を図ること。

どうする議員定数

議員定数等調査特別委員会を設置

大山町議会議員の定数や報酬の見直しを行うため、3月26日の3月議会定例会最終日に議員の提案により、議員定数等調査特別委員会が設置された。

本町の行財政改革審議会からも、「議員定数や報酬等、議会自らの行財政改革について検討されることを要望する」という答申を受けて設置されたもので、本会議で設置に関する決議が議員全員の賛成で可決された。

特別委員会は、議員全員で構成し、委員長に森田増範副議長、副委員長に椎木学総務常任委員会委員長が選任された。

今後は、委員会で調査研究し、6月末を目途に結論を出す予定。

みなさんからの陳情審査結果

3月定例議会で常任委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

陳情・請願の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
法務局の増員に関する陳情	全法務省労働組合 中央執行委員長 岩波 薫	この陳情は、法務局・更生保護官署・入国管理官署・少年院施設への職員増員を求めた国会請願の履行を求めるもので、局及び各官署の職員不足の現状は、理解できるものとして、採択すべきものと決した。	総務常任委員会	採 択 (意見書提出)
介護保険料の激変緩和措置継続のお願い(陳情)	鳥取高齢退職者 団体連合 会長 日置 勝彦	激変緩和措置の継続は2年間行われてきているが、さらなる継続は大山町の厳しい介護保険会計を圧迫し、保険料アップにも、つながっていくことになり、不採択と決した。	教育民生 常任委員会	不 採 択
「鳥獣被害防止特別措置法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	日本熊森協会 会長 森山まり子	野生動物との共生を図るという心情は理解出来るが、現実には鳥獣被害が多発していることから、不採択と決した。	経済建設 常任委員会	不 採 択
「現行保育制度の堅持・拡充、保育・学童保育・子育て支援施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求める意見書」提出の陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	国の次世代育成支援対策費等は、平成20年度の概算要求段階で、前年度を上回っており、子育て支援施策への配慮が伺えることから、不採択と決した。	教育民生 常任委員会	不 採 択
地域医療と国立病院の充実に関する陳情	全日本国立医療労働組合 鳥取地区協議会 議長 渡辺 和志	国立米子病院機構米子医療センターは、地域医療を担う中核病院として重要な役割を果たしており、さらなる充実が求められることから、採択すべきものと決した。	教育民生 常任委員会	採 択 (意見書提出)